

平成28年度 全国支部長会を開催



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。

会長あいさつ



平成二十八年度全国支部長会を開催いたしましたところ、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。当会の活動も皆様をはじめ、会員諸氏のご努力によりまして、先人の業績を引き継いで、円滑に活動を続けていくことは誠に同慶のいたりでございます。

来年は創立八十周年という節目を迎えますので、一層当会の活動が活発に行われますよう皆様のご努力をお願いする次第でございます。

本日は、創立八十周年記念事業についてをはじめといたしまして、それぞれ重要な議題が議事として予定されておりまして、どうぞよろしくお願いたします。

が開催された。藤田会長の挨拶後議事に入った。

高田副会長の司会進行で、支部長紹介の後、勝野副会長より創立八十周年記念事業の開催について、石毛理事から記念誌八十年のあゆみについて説明があり、次に、相澤副会長より篤志家からの寄付、会員増支部への還付金と支部長会出席支部への交通費の一部助成、熊本地震義捐金について説明があった。次に、勝野副会長より秋季善行表彰官公庁等からの推薦について、石井常務理事より新設支部について、石川県金沢支部は承認され、仙台支部については保留となった報告があり、山下常務理事より全国支部ブロック会についての報告があった。

意見交換に移り、北海道釧根支部から順次、各支部の活動や諸問題について出席者全員が発言した。各支部の春秋表彰の候補者推薦数、隠れた善行者の推薦、行政との連携、交通安全折り鶴運動、ブロック会の開催、ボランティア活動、会員増強の努力など多くのテーマについて貴重な意見交換の場となった。

平成二十八年度 第三回理事会の開催

平成二十八年度九月十六日(金)、平成二十八年度一般社団法人日本善行会第三回理事会がグランドヒル市ヶ谷翡翠の間で開催された。

午前十時半相澤副会長の司会により開会。出席者理事十九名、監事三名合計二十二名にて、本会定款の定めにより、定数を満たし本理事会は成立。藤田会長が挨拶の後、議長として、議事録署名人に会長及び監事を指名し、議事に入る。

第一号議案の
《創立八十周年
記念事業》
について

勝野副会長より説明があり、また、石毛理事から記念誌八十年のあゆみについて説明があり、質疑が行われ、全員異議なく可決された。

第二号議案の
《新設支部》
について

事務局より説明があり、質疑が行われ、石川県金沢支部は可決されたが、仙台支部については、宮城県支部との関係等について意見があり、保留となった。

第三号議案の
《その他》
について

相澤副会長より会員増支部への還付金と支部長会出席支部への交通費の一部助成、熊本地震義捐金について説明があり、山下常務理事から全国支部ブロック会について、勝野副会長から秋季善行表彰官公庁からの推薦内訳について説明があり、質疑が行われ、全員異議なく可決された。

新常務理事紹介

常務理事に
選任されて

長崎県佐世保支部
支部長 濱武 隆



この度、平成二十八年度定時総会におきまして九州で初めての常務理事に選任されました事、身に余る光栄と責任の重さを痛感しております。永い歴史と伝統のある善行会役員の一員として恥じぬよう努力致したいと存じております。

平成十八年十月一日有志の皆様と共に、長崎県佐世保支部を設立し全員協力して、善行の灯火をかかげ事業を重ねてくる事が出来ました。戦後日本は自由と平等を求めすぎた結果、責任、使命、役割を忘れてしまった社会と言われていま。

今一度日本人の道徳心、倫理観を取り戻すべき善行会の活動は重要で、急激に変化する社会情勢において複雑化する人間関係が生じている中、自分の立場や考えに固執せず思いやりの精神で人に接し、明るく住み良い社会を築くと言う善行会の果たすべき役割は、善行活動の行いやすい社会環境づくりこれが第一だと思っております。そのためにも活動の枠を広げ善行の実践と一つでも多くの善行の発掘を目指し、明るい社会づくりの為に貢献させて頂く所存でございます。

新監事紹介

青天のへきれき

板橋区青少年健全
育成地区委員会
副会長 久保 猛



支部の大幹部に以前、監事の話聞いていたが全く門外漢の為、私の任に非ずとお断り致しました。所が正に青天のへきれきと思う事が起きてしまいました。

支部総会の来賓として出席されていた本部役員で、又地域社会での重鎮でもあります大先輩と、支部役員のお二人方から、困らずも本部の監事就任を依頼され、おもんばかる間もなく結果的にはお受けする事になりました。法人の運営が適正に行われる為の重要な役割を担う重職であり、浅学非才の者が務まるものかと、身の引き締まる思いで一杯です。

更に、八十周年に向かつて微力ながら全力を挙げて任務を全うする覚悟でございます。より一層のご指導ご鞭撻を賜ります様よろしくお願申し上げます。